

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2019年 3月22日
研究期間	2020年 4月 7日 まで
研究の名称	Advanced neoplasia摘除後の長期予後と他臓器癌発生に関する検討
研究対象	2009年から2011年の間に便潜血陽性で当院を受診され、大腸内視鏡でadvanced neoplasia(やや悪性度の高いポリープ)を切除した患者さんの長期経過を、後方視的に検討する。
対象材料	診療記録
対象期間	2009年 1月～ 2011年 12月
研究の目的意義	<p>大腸癌発生や大腸癌死を抑制するために、大腸内視鏡を行って腺腫性病変の摘除を行う事が有効とされ、昨今大腸内視鏡の治療件数は上昇傾向にある。粘膜内癌・高異型度腺腫・絨毛型腺腫・10mm以上の腺腫をAdvances adenoma、これに浸潤癌を加えたAdvanced neoplasiaが、大腸癌のサロゲートマーカーとして近年注目されているが、治療後の長期予後に関しては不明な点が多い。</p> <p>今回、2009年1月～2011年12月に便潜血陽性で当院を受診された症例のうち、Advanced neoplasiaを切除された症例を抽出し、その長期予後を検討する。</p>
方法	2009年から2011年の間に便潜血陽性で当院を受診され、大腸内視鏡でadvanced neoplasia(やや悪性度の高いポリープ)を切除した患者さんの長期経過を、後方視的に検討する。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 山本政司 TEL 06-6843-0101